

公表

事業所における自己評価総括表

児童発達支援

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスそらまめはうす			
○保護者評価実施期間	令和7年 11月 1日		～	令和7年 12月 末日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18名	(回答者数)	15名
○従業者評価実施期間	令和7年 11月 1日		～	令和7年 12月 末日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 26日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子ども一人ひとりへの寄り添いを大切にしている。	・一対一の関わりを大切にしている。まず、子供の話をよく聞いて共感し、寄り添うこと。その上でどうすればよかったかを一緒に考え次のより良い行動に繋げる。そういう取り組みを意識している。	・スタッフ間の情報交換、共有をしっかりと行い、独りよがりの支援になっていないかチームで改善していく。
2	・家庭でも使える支援グッズ、スケジュール等の提供。	・保護者とのやり取りや面談を行い、必要に応じて作成し提供している。オーダーメイドでその人の特性や性格にマッチしたものを提供している。	・家庭と連携して無理なく実践できて効果を実感できるものになるよう努力する。
3	・季節に応じた活動や子供たちが楽しめる活動を取り入れている。	・季節を感じたり、子供たちが主体となって期待や楽しみをもって取り組める活動は何か？を常に考えている。	・子供たちの意見を取り入れてさらに楽しめる活動を行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・個別のスペースが少ない。	・部屋が少なく個別対応が難しい時がある。	・仕切りを使ったりなど空間の構造化をしていく。
2	・父母の会などの交流やスタッフの勉強会など支援以外の充実を図りたい。	・直接支援とその事前準備、支援計画の実施など中々、支援以外のごとに時間が割けない。	・年間スケジュールを作り、繁忙期を避けて取り入れるようにする。質を落とさず作業の効率化を図る方法を全員でアイデアを出していく。
3	・目の前が道路で飛び出し等の危険が伴う。	・施錠はしているが扉が開いた一瞬等に突発的に飛び出してしまいう子供もいるため。	・施錠を徹底する、スタッフが前に立つ、コーンを立てるなど今後も安全の確保をしっかりと行っていく。その上で子供一人ひとりに飛び出すことの危険性を分かりやすく説明し子供自身が納得することで行動変容を促していきたい